

主日礼拝

2023年4月30日
午前10時30分前奏 「我らの救い主、
イエス・キリストは死に打ち克ち」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「1 荒れ野よ、荒れ地よ、喜び躍れ
砂漠よ、喜び、花を咲かせよ
野ばらの花を一面に咲かせよ。
2 花を咲かせ
大いに喜んで、声をあげよ。
砂漠はレバノンの栄光を与えられ
カルメルとシャロンの輝きに飾られる。
人々は主の栄光と我らの神の輝きを見る。」
(イザヤ書 35:1,2)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいのひとりの主よ、さかえとち
からはただ主にあれ、とこしえまで。
アーメン。

リタニ— 「地球は箱舟」

司式者：正義を洪水のように
恵みの業を大河のように
尽きることなく流れさせよ。(アヌ書 5:24)
わたしたちの地球は、

みんな：宇宙に浮かぶ小さな箱舟。

司式者：わたしたちの箱舟は、

みんな：いろんないのちを育てます。

一緒に：平和こそ箱舟への贈り物です。

司式者：武器を捨てて聞き合い、
日毎の糧を分かち合えるように、

みんな：どうぞわたしたちの心に道をひらいてください。

司式者：あなたの正義が流れ出し、
愛の業があふれるように。

みんな：どうぞわたしたちの心に道をひらいてください。

司式者：箱舟のキャプテンであるイエスさまによって、

一緒に：アーメン。

司式者：平和のうちに身を横たえ、わたしは眠ります。

一同：主よ、あなただけが、確かに
わたしをここに住まわせてくださるのです。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しゅよあわれみを しゅよあわれみを
キリエ エレ — — イ ソン
しゅよあわれ — — み を
キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを
* 「キリエ・エレイソン」は、「主よ、あわれんでください」という意味。

聖書 ヨハネによる福音書 6:34~40

新約(新共同訳) P175~P176

34 そこで、彼らが、「主よ、そのパンをいつもわたしたちにください」と言うと、35 イエスは言われた。「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。36 しかし、前にも言ったように、あなたがたはわたしを見ているのに、信じない。37 父がわたしにお与えになる人は皆、わたしのもとに来る。わたしのもとに来る人を、わたしは決して追い出さない。38 わたしが天から降って来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行うためである。39 わたしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである。40 わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである。」

賛美 56 「主よ、いのちのパンをさき」

Break Thou the bread of life
詞：Mary A. Lathbury, 1841-1913

BREAD OF LIFE
曲：William F. Sherwin, 1826-1888

1 主よ、いのちのパンをさき、あたえたまえ、われらに。
2 ガリラヤにて親しくパンを祝し主イエスよ。示したまえ、われらに主のまことの みことば。
3 主よ、いのちのせいれいをおくりたまえ、われらに。いのりもとむひたすら、
仁さよ。しめしたまえ、われらに。
れらに。かたりたまえ、みことば。
主のいのちのみことば。
主のまことのみことば。
みさせたまえ、みすがた。

- 1 主よ、いのちのパンをさき、
あたえたまえ、われらに。
祈り求む ひたすら、
主のいのちの みことば。
- 2 ガリラヤにて 親しく
パンを祝し主イエスよ。
示したまえ、われらに
主のまことの みことば。
- 3 主よ、いのちの 聖霊を
送りたまえ、われらに。
語りたまえ みことば、
見させたまえ みすがた。

説教 「命のパンを分かち合う」

賛美 453 「何ひとつ持たないで」

Ik sta voor U
詞：Huub Oosterhuis, 1933-

DE HEER HEEFT MIJ
曲：Bernard M. Huijbers, 1922-

1 なにひとつも持たないで わたしは主のまえに立つ。
2 たとえうたがいまよい、むきりよくなる時にも、
3 なぐさめのみことばと H ことのパンをそなえて、
主のめぐみがなければ、ただ死ぬほかな いのち。
あなたの愛の手が、わたしをとらえ つづける。
わたしを主はかえりみ、平和のみちをあゆませる。
あなたがやくそくする、みらいのぞむわたし。
よろこびの、みくにへと、みちびかれる日はいつか？
いのりをきかれる主よ、あなたはわたしのいのち。

- 1 何ひとつ持たないで 私は主の前に立つ。
主の恵みがなければ、ただ死ぬ他ない命。
あなたが約束する 未来 待ち望む私。
- 2 たとえ疑い迷い、無気力になる時にも、
あなたの愛の御手が 私をとらえ続ける。
よろこびのみ国へと 奪かれる日はいつか？
- 3 慰めの御言葉と 日ごとのパンを備えて、
私を主はかえりみ、平和の道を歩ませる。
祈りを聞かれる主よ、あなたは私の命。

派遣

- 司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
- 会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「トッカータ へ長調」 (D.ブクステフーデ)

司式 袁 紅
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子